

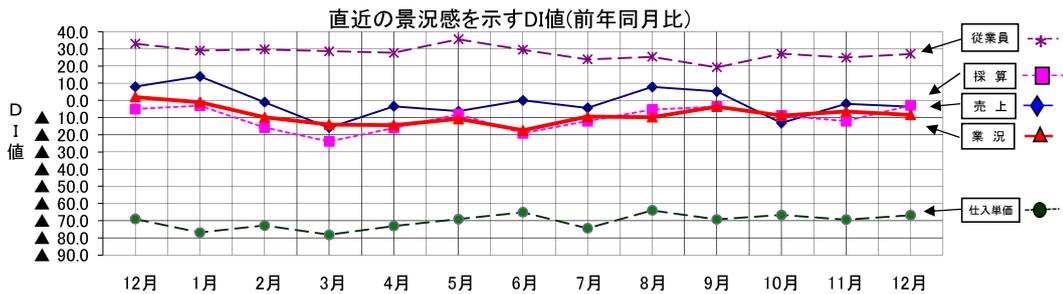
【12月の概要】

採算DIは大幅に改善し、過去1年で最高値
先行き見通しは悪化が目立ち、慎重姿勢続く

直近の景況感を示すDI値では、「売上DI」が▲1.9から▲3.7へ悪化し、「業況DI」も▲6.5から▲8.4へ低下した。一方、「採算DI」は▲12.0から▲2.8へ大幅に改善し、「仕入単価DI」も▲69.4から▲66.8へ改善するなど、コスト面では一部に持ち直しの動きがみられた。「従業員DI」は25.0から27.1へ上昇し、人手不足の状況が続いている。

向こう3か月の見通しでは、「売上DI」が前月比▲6.6ポイント、「採算DI」が▲4.7ポイント、「業況DI」が▲6.6ポイント、「仕入単価DI」が▲3.3ポイントと、いずれも前月から悪化している。「従業員DI」は前月比▲2.5ポイントとわずかに改善しているものの、人材の確保が進まない状況や新規採用の難しさを指摘する声が多く、人手不足の厳しさは依然として続いている。

コメントでは、物価高や人手不足の影響により採算が厳しいとの声が多く寄せられた。原材料価格の上昇を販売価格に転嫁できないとの指摘のほか、最低賃金の引き上げに加え、原材料価格や物価の上昇が経営を圧迫しているとの声もみられた。その一方で、社員への賃上げに踏み切る動きや、経費削減などによりコスト上昇への対応を図る動きもみられた。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数: Diffusion Index の略)=(良い割合)-(悪い割合)
※従業員=(不足)-(過剰)

	2025年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	2026年	12月
売上	8.0	14.0	▲1.0	▲15.8	▲3.4	▲6.3	0.0	▲4.3	7.9	5.3	▲13.2	▲1.9	▲3.7		
採算	▲5.0	▲3.0	▲15.8	▲23.8	▲16.0	▲8.0	▲19.1	▲12.0	▲5.3	▲3.5	▲8.8	▲12.0	▲2.8		
業況	▲5.0	▲3.0	▲15.8	▲23.8	▲16.0	▲8.0	▲19.1	▲12.0	▲5.3	▲3.5	▲8.8	▲12.0	▲2.8		
仕入単価	▲69.4	▲66.8	▲72.8	▲78.2	▲73.1	▲69.2	▲65.2	▲74.4	▲64.0	▲69.3	▲66.7	▲69.4	▲66.8		
従業員	33.0	29.0	29.7	28.7	27.7	35.7	29.6	23.9	25.4	19.3	27.2	25.0	27.1		

- ・前月比でマイナス幅が減少(改善)したDI値: 採算+9.2ポイント、仕入単価+2.6ポイント
- ・前月比でマイナス幅が増加(悪化)したDI値: 売上▲1.8ポイント、業況▲1.9ポイント
- ・前月比でプラス幅が増加(悪化)したDI値: 従業員+2.1ポイント(人手不足感が強まった)

【向こう3か月間の見通しを示すDI】

	売上(受注+出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
10月回答	0.0	▲9.7	▲12.3	▲48.3	29.8
11月回答	▲0.9	▲5.6	▲9.3	▲44.4	25.9
12月回答	▲7.5	▲10.3	▲15.9	▲47.7	23.4

- ・前月比で見通しが改善したDI値: 従業員▲2.5ポイント(人手不足感が弱まった)
- ・前月比で見通しが悪化したDI値: 売上▲6.6ポイント、採算▲4.7ポイント、業況▲6.6ポイント、仕入単価▲3.3ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電力メンテナンス	物価高や人手不足の影響で採算は厳しいものの、経費削減などの取組により一定の利益を確保している。今後は天候不順による作業への影響も懸念され、安全面への配慮を徹底したい。
	土木・建築	降雪が業績に影響するため、入念な準備と想定が求められる。
製造業	溶接加工	仕事量は多く受注したものの、生産性が上がらず、外注への依存が増えている。人員はそろっているが、熟練工の退職により技術の承継が課題となっている。
	印刷	原材料価格の上昇を販売価格に転嫁できず、厳しい状況が続いている。
小売業	建設機械レンタル	北陸エリアでは公共工事予算の縮小が見込まれ、新潟県近郊の発注件数も減少傾向にある。これにより売上は苦戦が続き、仕入単価の上昇もあって利益を圧迫する状況が当面続く見通しである。
	印鑑	年賀状の注文は前年の半数程度まで減少しているが、継続する顧客も多く、今後もしばらくは需要が続くとみられる。こうした顧客に応えるため、継続していきたい。
サービス業	貨物輸送	来年、軽油の暫定税率が廃止されるものの、運送業界にとっては燃料費よりも人手不足の問題が深刻である。人員減少が続いており、荷物を運びたくても運転手が確保できない状況が生じている。
	飲食	インフレ経済下で消費者の可処分所得が伸び悩んでいる。物価高対策として社員への賃上げを実施しているが、今後の人件費や原材料、営業経費の上昇を吸収するため、価格転嫁を継続して行う必要がある。しかしながら、値上げにも限界があり対応は難しい状況にある。
	タクシー	最低賃金の引き上げに加え、燃料価格の高騰も重なり採算が取れない状況にある。高齢者の退職が増加する一方で、新規採用が進まず、人手不足が一段と深刻化している。

※本コメントは、調査結果の一部を編集・要約したものです。内容の趣旨を損なわない範囲で表現の調整を行っています。

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 12月分 各業界からのコメント

建設業
物価高や人材不足の影響で採算は厳しいですが、経費削減等で利益はある程度確保できています。これから天候不順で作業にも影響が出てくると思われ、事故の無いようにしなければなりません。
特に大きな動きはなし。 業績が降雪に影響する為、入念な準備と想定が必要。
製造業
今年は仕事量にはおかげさまで多くいただきましたが、生産性がよくなく、外注などに頼む機会が増えてきたと感じます。人手数的にはそろっているが、熟練工が退職などでいなくなり技術の承継が急務となります。
原材料の価格は上がっても価格への転嫁はできず、悩みの多い状況となっている。従業員の危機感とは違う危機感で日々動いている。
卸売業
高市内閣に期待 公共資材卸売の為、国交省の資材材質「仕様変更」に伴い、仕入れ先変更で忙殺された。
小売業
昨年よりも積雪が早いと予想される。除雪需要の増加により売上増加の見込み。 北陸エリアにて公共工事予算が必要であり、新潟県近郊の発注工事が減少傾向となります。伴って売上減少傾向にあり売上苦戦傾向となり、仕入れ単価の上昇から利益を圧迫する状態が暫く続く見通しとなります。 年賀状の注文は前年の半分くらいになりましたが、継続するお客様は、しばらくは年賀状を作成する方だと思います。この方たちのためにも作成して行きたいと思います。もちろん、自分の分も作成します。 製造面での人手不足がやや解消され繁忙期を迎えられている
サービス業
現状に於いては例年と大きな相違は無いが、年度末（3月末）に向けて駆け込み需要が見込まれるが、現状の人員で対応できるのかが課題となる。 来年軽油の暫定税率が廃止されるが、運送業界にとっては軽油の問題よりも人手の問題の方が大きい。人員が減り続けており、荷物を運びたくても人手不足で運べない状況となっている。 インフレ経済下において消費者の可処分所得の伸びがついてきていない。物価高対策として社員に物価高対策賃上げを実施。今後の人件費の伸び、原材料及び営業経費の上昇を吸収するために価格転嫁を継続して実施する予定。しかしながら値上げには限界がある。 最低賃金の見直しと共に燃料価格も高騰しているために採算が合わない。 株価の高騰を受け留められない地方情勢ではないか 高齢者の退職が目立ってきたが新採用が乏しい 今月は、クリスマス、お正月の季節イベントに向けて需要がある為、しめ縄飾りなどの問い合わせも多い。 先月・今月と比較的大口案件が入っているため売上は増加した。 人員も人数は揃っているが技術力が圧倒的に不足しているため、人件費が増加している割に能率は良い状態ではない。ここを何とか乗り切り、個々の技術力を高めて利益率を上げる方向へ尽力したい。